富士ゼロックス
DocuPrint CG835 リリースノート (サーバー編)

2003年3月20日

このたびは、DocuPrint CG835をご利用いただき、まことにありがとうございます。
本書では、『DocuPrint CG835 取扱説明書(サーバー編)』、および『DocuPrint CG835 取扱説明書(プリンター編)』に記載されていない情報や、本バージョンでのその他の一般情報について説明しています。DocuPrint CG835をご利用になる前に、『DocuPrint CG835 取扱説明書(サーバー編)』、および『DocuPrint CG835 取扱説明書(プリンター編)』と合わせて、ここで説明している情報をお読みください。

本書の内容は、次のとおりです。

1　お使いになる前に

◆ オプションのネットワークカードを使用する場合は、専用ケーブル1000 BASE-T対応ケーブルが必要です。また、お使いのネットワーク関連機器が、オプションのネットワークカードに対応している必要があります。なお、オプションのネットワークカードを設置すると、標準のネットワークポートは利用できません。

◆ サーバー本体に、他のアプリケーションをインストールした場合の動作は保証していません。「セキュリティー対策に関する補足情報」に記載されている、ウィルス対策ソフトウェアについては、動作を確認済みです。

◆ 本体に同梱されている、各種インストールメディアは再発行できません。紛失しないよう、ご注意ください。

2　追加補足情報

2-1　サーバー本体

◆ ご購入後はじめて、サーバー本体を立ち上げて ServerManager を起動したとき、管理者パスワードを入力するウィンドウが表示されますが、このウィンドウが ServerManager ウィンドウの後ろに隠れてしまう場合があります。その場合は、Windows のタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックして、ウィンドウを切り替えてください。

◆ 用紙トレイから複数の用紙が同時に引き込まれることが原因で、用紙が詰まった場合、サーバーはエラーメッセージを表示します。この場合、ジョブはエラーで終了し、自動的に再プリントを行いません。
出力されたページを、出力枚数またはプリント履歴で確認し、ジョブ編集でページ範囲を指定して、再プリントしてください。

◆ NetWareClient をサーバーにインストールする場合は、Fuji Xerox Print Server Service を停止してください。また、NetWareClient のインストール終了後はサーバー本体を再起動してください。

◆ 濃度調整中にトナー交換のメッセージが表示された場合、対象となるトナー交換を実施してください。その場合、トナー交換位置が対象トナー色と異なる場所で停止している場合がありますので、ご注意ください。また、トナー残量が少ない時に濃度調整を実行すると、トナー交換のメッセージが表示されることがあります。その場合は適切な濃度調整を行うためにトナーの交換をお願いします。
濃度調整機能はキャリブレーション時に働く機能ですが、必ずしも毎回キャリブレーション時に働く機能ではありません。

◆ 何らかの理由で、Fuji Xerox Print Server Service のサービスをいったん停止したあとに再起動する場合は、次の手順で操作してください。

① [マイ コンピュータ]>[コントロールパネル]>[管理ツール]>[サービス]の順に開きます。[Fuji Xerox Print Server Service]を選択し、操作メニューから[停止]を選択して、[Fuji Xerox Print Server Service]を停止します。
② [World Wide Web Publishing Service]を停止します。
③ [Fuji Xerox Print Server Service]を開始します。
④ [World Wide Web Publishing Service]を開始します。
[Fuji Xerox Print Server Service]だけを開始した場合、クライアントが WebManager にアクセスすると「サーバの設定が正しくありません」というメッセージが表示されることがあります。

2-2　ServerManager および WebManager 共通

◆ ServerManager および WebManager で設定する、プリント時のオプションまたはデフォルトプリントオプションの[用紙サイズの変更]で、[カスタムサイズ]を選択していない場合は、[カスタムサイズ]がグレー表示になり入力できません。ただし、Netscape Communicator 4.75 以前では、[カスタムサイズ]がグレー表示にならず、入力終了後に値の無効を伝えるダイアログボックスが表示されます。

2-3　ServerManager

◆ NetWare(Pserver)で使用する場合、現在のバージョンでは、Bindery モードと NDS モードを合わせて１つしかサポートしていません。ただし、設定は複数できてしまいます。

- 何らかの理由によりNetWareサーバーとの接続が切れた場合、サーバー本体を再起動してください。

- NetWareサーバーを再起動した場合は、サーバー本体も再起動してください。

- サーバー本体のネットワークプロトコルをIPX/SPXのみにした場合、NetWareサーバーと接続できなくなる場合があります。サーバー本体のネットワークプロトコルは、変更しないようにご注意ください。

- フォントワークス社製品のフォントをインストールする場合、2回めからはインストール先がdisk0に固定され、プリンターの選択ができません。これは、フォントワークス社のインストーラーの制限事項です。

- エヌフォー社製品のフォントをインストールする場合は、エヌフォー社提供のインストーラーver.2.1を使用してください。

- 字識人JTCウインM1をフォントインストールし、サーバー本体でフォントの更新をするとエラーシートが出力されますが、このフォントを使用してのプリントは問題なく行えます。

- デフォルトプリントオプションの[強制上書き]を使うと、他のプリントオプション機能との組み合わせによって、設定はできても、プリントを指示するとエラーメッセージが表示され、プリントができない場合があります。

- デフォルトプリントオプションの[用紙トレイ]に[自動選択]以外のトレイを指定すると、すべてのジョブは指定したトレイからプリントされます。

- Windowsのプリントオプションで[印刷処理が速くなるよう最適化]を適用した場合に、ServerManagerの[環境設定]ダイアログボックスで[ページ指定のプリントを高速化]を指定すると、PostScriptエラーの発生を防ぐため、高速化の指定が無効になります。[ページ指定のプリントを高速化]を有効にしたい場合は、[エラーが軽減するよう最適化-ADSC]を選択してください。

- Windows 2000クライアントからのlprのプリントジョブをサーバーで受信すると、ServerManagerに表示されるジョブファイル名は、プリンターオブジェクト名とジョブ番号になります。これは、Windows 2000の仕様です。

- FTPの作業用フォルダの場所を変更すると、変更前のフォルダは元の場所に残ります。変更前のフォルダは、手動で削除してください。

- IISが停止/一時停止している場合、またはIISの[既存のFTPサイト]が停止/一時停止している場合でも、ServerManagerでFTP受信の設定は可能です。この場合、FTPによる受信プリントは不可能ですが、サーバー本体での、FTPフォルダーへのファイルコピー操作などによるプリントは可能です。

- ICCプロファイルからDocuPrint CG835用のプロファイルに変換する場合、ICCプロファイルの作成の仕方によっては狙い通りの色味にならない場合があります。

- ICCプロファイルを埋め込んでプリントできるアプリケーションがありますが、狙い通りの色味にならない場合があります。

◆ 新たに DocuPrint CG835 用のプロファイルを作成する場合、用紙やインクの特性、あるいはターゲットの印刷物の退色（経時変化）や環境変化により、狙い通りの色味にならない場合があります。

◆ キャリブレーション作業を実施していると、作業時間によってはプリンターが節電モードに移行して、確認シートの出力に時間がかかる場合があります。この場合は、キャリブレーション作業の実施前に、節電モードへの移行時間を長めに設定するか、節電モードに移行しないよう設定変更してください。なお、キャリブレーション作業終了後は、節電モードの設定を元に戻して下さい。

◆ コントローラボードエラーでプリントジョブがエラー終了した場合は、サーバー本体とプリンターを再起動してください。

◆ ディスプレイに表示されている全てのウィンドウを最小化し、最小化されたウィンドウの内どれか１つを元のサイズに戻すと、ServerManager ウィンドウも元のサイズに戻ります。

◆ 何らかの状況でサーバー本体がプリントできない状態であっても、マシン状態ウィンドウの[マシン 1]には「プリントできます」が表示されます。マシン状態ウィンドウの[マシン 1]に表示される状態は、プリンター本体のみの状態を示します。

◆ PDF 配信機能で、クライアントからのメールに添付ファイルが多数ある場合、受信状況のステータスが正しくない表示されない場合があります。また、プリント中のものがあっても、プリント済みと表示されます。

2-4　WebManager

◆ 一度に開くことができる WebManager の画面数は、ひとつだけです。複数の保持ジョブ画面を開いてジョブを編集しようとすると、「ジョブを１つだけ選択してください」と表示され、ジョブ編集ウィンドウが開かない場合があります。

◆ WebManager のプリントキューに多数のジョブがある場合、ジョブの表示に時間がかかる場合があります。

◆ WebManager からアップロードするファイルに、TIFF、SunRaster または XWD のファイルを選択した場合、[オーバープリント警告]および[ヘアライン警告]の設定ができますが、ジョブをサーバーに送信するとエラーメッセージが表示され、プリントはできません。

◆ WebManager を使用してクライアントソフトウェアをダウンロードするときは、ブラウザーでプロキシサーバーを経由しないように設定してください。プロキシサーバーを経由するように設定すると、古いバージョンのソフトウェアがダウンロードされる場合があります。

◆ Internet Explorer 5.5 でプリント履歴を保存すると、プリント履歴データがテキスト形式で表示されます。この場合は、表示されたすべてのテキストデータをマウスで選択し、メモ帳(notepad)にコピー&ペーストしてください。このとき、メモ帳のファイル名に制限はありません。

◆ Macintosh の Internet Explorer 4.5 から WebManager を使って削除したジョブは、[自動更新を行う]を設定していても、[更新]をクリックするまでキュー内に表示されます。これは Internet Explorer 4.5 のキャッシュ機能によるものす。

- Macintosh の Internet Explorer 4.5 から、[プリファレンス]の[環境設定]で[自動更新間隔]を設定したときに作成される Cookie は、大文字と小文字を判別しません。複数の同一 Cookie が作成されたことによって、設定が正しく反映されない場合は、Internet Explorer 4.5 の[初期設定]>[受信ファイル]>[Cookie]で、WebManager の Cookie を削除してから、[自動更新間隔]を設定し直してください。

- Macintosh の Netscape Communicator 4.5 では、ジョブ情報の画面を下方向へスクロールできません。これは、Netscape Communicator 4.5 の制限事項です。

- MacOS X の Internet Explorer 5.11 では、WebManager ウィンドウの右側フレームを下方向へスクロールできない場合があります。

- WebManager からアップロード印刷する場合に、「Content-Type が正しくありません。このブラウザではアップロードできません」というメッセージが表示され、アップロード印刷の画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、ブラウザーを再起動してください。

- NetScapeCommunicator6.0 よりも前のバージョンの NetScapeCommunicator では、WebManager のアップロード画面にて、「ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う」をチェックしても、使用できないプリントオプションが、設定不可能であるグレー表示になりません。設定不可能になるはずの項目を指定してもプリント時には無視されます。
  これは、NetScapeCommunicator6.0 よりも前のバージョンの NetScapeCommunicator 共通の制限事項です。

- ブラウザーの「戻る」をクリックして、前の画面に戻った場合、前の画面で設定していた項目が設定されていない状態に戻る場合があります。

2-5　プリントについて

■ Macintosh および Windows 共通

- プリンター本体の電源を切ってから再度入れる場合は、5 秒以上の間隔を空けてください。

- プリントオプションの[TIFF ファイルで保存]を選択して作成したファイルを、プリントしないでください。プリントした場合は、保証の範囲外になります。

- プリントオプションの[TIFF ファイルで保存]を選択し、かつプリンターモードで[スクリーン]を選択した場合、作成したファイルを Photoshop で開くと、正しく表示されない場合があります。

- プリントオプションの[用紙サイズに合わせる]を選択してドキュメントを縮小してプリントすると、ドキュメントの余白部分にあるデータが正しくプリントされない場合があります。

- プリントオプションの[K オーバープリント]を選択して黒色(100%)を含む QuickDraw パターンをプリントすると、エラーになります。その場合は、[K オーバープリント]を「オフ」にしてプリントしてください。

- [差込印刷－フォームとして登録]を指定するとき、プリントはしないでフォームの登録だけをしたい場合は、[スプールオプション]で[プリントせずに保存する]を選択してください。

- ◆ プリンタードライバーのプリントオプションに、メモ書きのコメントを入力する欄が表示されない場合は、コメントの機能を利用できません。この場合は、ServerManager、WebManager または Drop Print2 から、コメントを設定してください。

- ◆ [メモ書き－カスタム]を指定した場合、印刷の向きに関わらず、日付と番号は横向きにした用紙の左下角の位置にプリントされます。この位置は、プリンターの特性を考慮して設定されているので、変更はできません。

- ◆ PageMaker から、[カラー]をクリックして表示される[プリント－カラー]ダイアログボックスで[カラー]を選択しても、ServerManager のデフォルトプリントオプションのカラーモードで[グレースケール]を選択していると、グレースケールでプリントされます。この場合は、PageMaker のプリントダイアログボックスで[プリンタ特性]をクリックして、表示される[プリント－特性]ダイアログボックスの[カラーモード]で[カラー(CMYK)]を選択してください。

- ◆ PageMaker から、[後ろのページから]を選択して両面印刷をすると、正しい順序でプリントされません。両面印刷をする場合は、[後ろのページから]を選択しないでください。

- ◆ PageMaker からプリントする場合は、プリントダイアログボックスで PageMaker 用 PPD を選択してください。PageMaker 用 PPD を選択しないと、プリントオプションが正しく動作しない場合があります。

- ◆ PageMaker 用 PPD を使って Quark XPress 3.3 からプリントすると、エラーメッセージが表示されプリントできません。標準の PPD を使ってプリントしてください。

- ◆ PageMaker からカスタムサイズのジョブをプリントする場合は、ServerManager の[ジョブ編集]で、使用する給紙トレイを選択してください。ServerManager の[ジョブ編集]で給紙トレイを選択せずにプリントすると、エラーが発生する場合があります。

- ◆ Illustrator 9.0 で RGB カラーを適用した EPS ファイルを、RGB カラー出力がサポートされていないアプリケーションからプリントする場合は、［CYMK ポストスクリプト］オプションを「オン」にしてください。［CYMK ポストスクリプト］オプションを「オフ」にすると、正しくプリントされない場合があります。

- ◆ Illustrator 8.0 を使って、オブジェクトに[塗りにオーバープリント]を設定し PDF ファイルで保存すると、白色に対してもオーバープリントが適用されます。これは Illustrator 8.0 の仕様です。

- ◆ Illustrator 10 では、「部単位で印刷」、「最終ページから印刷」、「両面」を指定しても、正しくプリントされません。これは Illustrator 10 の制限事項です。

- ◆ Illustrator 10 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできない場合があります。これは Illustrator 10 の制限事項です。

- ◆ Photoshop 7 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできない場合があります。これは Photoshop 7 の制限事項です。

- ◆ Photoshop からの分版出力ジョブを「色分版の合成：自動」で自動合成することはできません。分版を合成する場合は、「Illustrator Style」をご使用ください。

- ◆ アプリケーションからPDFファイルを出力し、Acrobat Readerからプリントすると、プリント結果がディスプレイの表示と異なる場合があります。なお、Acrobat Distillerで作成したPDFファイルは、正しくプリントされます。

- ◆ PowerPointで、横長のスライドを、用紙サイズで封筒サイズ（洋形2号、3号、4号、洋長3号）を指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。

- ◆ プリントオプションで、[両面印刷]と[最終ページから印刷]を指定した場合、[最終ページから印刷]の指定は効きません。

- ◆ プリントオプションの[Kオーバープリント]、[RGB黒をKに置換]、[RGBグレーをKに置換]、[ヘアライン警告]は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

- ◆ PageMakerは、線幅の指定をデバイスの１ピクセル幅単位にまるめて出力するので、600dpiのプリンターに対しては 0.12pt よりも細い線を出力しません。このため、PageMaker で作成した描画オブジェクトには、ヘアライン警告機能が正しく適用されません。なお、PageMakerに割り付けたEPSファイルに含まれる細線には、正しく適用されます。

- ◆ 線ではなく四角オブジェクトを作って塗りをしたものには、ヘアライン警告機能が効きません。

- ◆ Illustratorなどで作成したEPSファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もヘアライン警告で検出できます。

- ◆ InDesign 1.0/2.0 で、鉛筆ツールや楕円形ツールで描いた曲線に、グラデーションで塗りを指定したオブジェクトは、ヘアライン警告で検出できません。

- ◆ プリントオプションの［オーバープリント警告］は、アプリケーションからコンポジット出力を設定した場合にだけ、有効です。

- ◆ Illustrator 9.0/10.0 は、オーバープリントをシミュレーションして出力するので、プリントオプションの［オーバープリント警告］は、働きません。

- ◆ QuarkXPress3.3J で、プリンターの設定ファイルとしてPPDファイルを使用しているときには、オーバープリント警告機能は働きません。プリンターの設定ファイルには、PDF ファイル（QuarkXPress3.3 用のプリンター設定ファイル）を指定してください。

■ Macintosh

- ◆ Macintoshからプリントする場合、使用するアプリケーションのメモリー使用サイズが900キロバイト以下に設定されていると、プリントできないことがあります。使用するアプリケーションのメモリー使用サイズは、900キロバイト以上に設定してください。

- ◆ MacintoshのAdobePS8.6では、給紙方法として「1枚目」と「残りのページ」の２とおりがありますが、どちらを選択しても「1枚目」で指定されたトレイから給紙されます。

◆ MacOS 8.5 ～9.x で、モリサワ社の New CID フォントを使用すると、フォントが LaserWriter ドライバーからプリンターに正しくダウンロードされずに、ビットマップフォントでプリントされる場合があります。これは、モリサワ New CID フォントが複数のフォント名を持っているため、プリンターに誤ったフォント名が伝えられ、フォントがない扱いになってしまうからです。
この場合は、次のいずれかのとおりに対処してください。
・[用紙設定]の PostScript オプションを選択し、[ダウンロード可能フォントの制限なし]を「オン」にする。
・PDF で保存し、デスクトッププリンターにドラッグする。
・Adobe PS ドライバーを使用する。
・ATM フォントをインストールする。

◆ Quark XPress 3.x 用に PDF ファイルを提供しています。
この PDF ファイルは、同梱の CD-ROM および WebManager から入手できます。
インストールの手順は、次のとおりです。

① WebManager からダウンロードする場合は、WebManager の[ダウンロード]タブにある、該当する OS の「プリンタドライバプラグイン」をクリックして、インストーラーをダウンロードします。
② 「AdobePSPlugIn_Installer.hqx」をダブルクリックして、PDF をインストールします。
③ クライアントの[Print Server Series]内の[Printer Driver]にある次の PDF ファイルを、Quark XPress 3.x 用のインストールディレクトリ\PDF にコピーします。

◆ PageMaker からプリントする場合は、セレクタで DocuPrint CG835 用の PageMaker 用 PPD を選択したプリンターを使用してください。また、PageMaker のプリントダイアログボックスでも、DocuPrint CG835 の PageMaker 用 PPD を選択してください。プリンターとプリントダイアログボックスの両方で DocuPrint CG835 の PageMaker 用 PPD を選択しないと、プリントオプションが正しく動作しない場合があります。

◆ グレースケールの EPS 画像をファイルに貼り付けて、InDesign から分版印刷する場合は、Photoshop などで [ポストスクリプトカラー管理]を「オフ」にして EPS 形式で保存した画像を使ってください。[ポストスクリプトカラー管理]が「オン」に設定されている EPS ファイルを使うと、正しく分版印刷されない場合があります。

◆ MORISAWA 新正楷書体 CBSK1 をインストール済みの環境で､このフォントを使用しプリントする場合はフォアグランドで印刷するか、「ダウンロード可能フォントの制限なし」をチェックしてプリントしてください。

◆ MacOS X では、用紙サイズにカスタム用紙サイズを選択した場合、正しくプリントできない場合があります。

◆ 用紙選択画面で用紙サイズが B5 は B5(JIS)、B4 は B4(JIS)、8.5x11 はレター、8.5x14 はリーガルと表示されます。

◆ MacOS X 10.2.x で、プリセット機能を使用する場合は、[プリセット]を選択し印刷を行ってください。ただし、プリセットされている内容は、画面上には反映されません。また、一度[プリンタの機能]を開くとプリセットされていた内容が失われます。

◆ MacOS X 10.2.x では、[プリンタの機能]を開いた後、他の設定項目（[一覧]等）を開き、 [プリンタの機能]に戻るとプリントオプションを選択できません。設定を変更する場合は、 一度プリントダイアログをキャンセルしてから行ってください。

◆ MacOS X 10.2.x からプリントすると、ServerManager 上で表示されるジョブ名が文字化けする場合があります。

◆ MacOS X 10.2.1 で Photoshop 7.0 から複数部数を指定しプリントすると、指定した部数の二乗が出力される場合があります。MacOS X 10.2.2、10.2.3、10.2.4 では正常に出力されます。

◆ 分版出力を行おうとすると、「指定したプリンタの PPD ファイルは、色分解ダイアログボックスで使用している PPD ファイルとは異なります。アートワークの一部がプリントされなかったり、プリントが適切に行われない場合があります。」と表示される場合がありますが、そのまま印刷を続けてください。

◆ Macintosh にインストールされているフォントと印刷ドキュメントで使用しているフォントの組み合わせによっては、PostScript エラーが発生する場合があります。

◆ FreeHand 10J から OpenType フォントで入力されたテキストを含むドキュメントをプリントすると PostScript エラーが発生する場合があります。

◆ アプリケーションの用紙設定でプリンタを選択すると PPD ファイル名が表示されますが、途中までしか表示されません。

◆ アプリケーションによっては RGB 画像に対して、[RGB 色補正]が「しない」の設定でも、「RGB 出力インテント」の指定が反映される場合があります。

◆ Illustrator 10 で、プリントオプションに「レイアウト」指定、「丁合い」指定、「最終ページからの印刷」を指定した場合、正しく出力されない場合があります。

◆ InDesign 2.0 で、プリントオプションに「レイアウト」を指定した場合、正しく出力されない場合があります。

◆ InDesign 2.0 で、プリントオプションに「レイアウト」を指定、または「拡大」を指定した場合に、「ヘアライン警告」を指定すると、警告対象でない部分を警告したり、画像の一部が消えたりする場合があります。

◆ FreeHand 10J で、プリントオプションに「レイアウト」指定、「拡大縮小」指定した場合、偶数ページのみがプリントされたり、1 枚に全ページが重なってプリントされるため、正しくプリントできない場合があります。これは FreeHand 10 の制限事項です。

◆ Excel X で、プリントオプションに「レイアウト」指定と「ヘアライン警告」を同時に指定した場合、正しく出力されない場合があります。

◆ MacOS X 10.2.x で Excel からプリントする場合、「印刷部数」指定が反映されない場合があります。ページ設定にてオプション設定終了後、OK ボタンを押してからプリントすると指定が効きます。

◆ PowerPoint で、プリントオプションに「用紙サイズに合わせる」を指定すると、画像が切れたり、印字サイズが変わる場合があります。

■ Windows

◆ Windows からのプリントジョブのプリフライトレポートを作成すると、次のような PostScript メッセージが表示されますが、これはエラーメッセージではありません。

```
*** PostScript メッセージ ***
%% [ ProductName：DocuColor 1255 Server ] %%
%% [Page：1] %%
%% [Page：2] %%
%% [Page：3] %%
%% [LastPage] %%
```

◆ Windows 95/98/Me からユーザー定義サイズを使用してプリントする場合は、余白に 3.9mm 以上の値を設定してください。

◆ Acrobat Reader 3.0J から、プリントオプションで N アップと複数部数を指定すると、レイアウト枠だけがプリントされます。

◆ Acrobat Reader 3.0J/4.0 から、プリントオプションで[プリント後保存]を選択しても、ドキュメントがスプールに保存されないことがあります。

◆ Acrobat Reader 5.0 からは、PostScript オプションの[ミラーイメージ印刷]が適用されない場合があります。

◆ FreeHand 9.0J から、3 ページの文書にプリントオプションで 4 アップを指定すると、全ページとも標準レイアウトでプリントされる場合があります。

◆ Quark XPress 4.1 から、3 ページの文書にプリントオプションで 4 アップを指定すると、3 ページめだけがプリントされる場合があります。

◆ Quark XPress 4.0 は、オブジェクトの線幅を 0pt に設定するとヘアライン機能が適用され、自動的に線幅が設定されます。このときに設定された線幅が、プリントオプションで指定したヘアライン警告幅よりも太い場合、サーバーでは警告されません。

◆ PowerPoint 97 から、[スライドに枠をつけて印刷する]を設定してカスタムサイズの用紙を選択すると、枠の上部がプリントされません。この場合は、ユーザー定義サイズで余白の[下]を 3.9mm に設定してください。

◆ Windows 95/98/Me 版の Designer から、SEF 用紙にプリントするときに[長辺とじ]を指定すると、短辺とじでプリントされます。また LEF 用紙にプリントするときに[短辺とじ]を指定すると、長辺とじでプリントされます。

- Windows Me 版の Word 2000 から N UP を指定してプリントした場合、白紙が出力されます。これは Word 2000 の制限事項です。

- Windows NT 4.0 版の Word 2002 から、プリントオプションで 2 アップを指定すると、全ページとも標準レイアウトでプリントされる場合があります。

- Windows NT 4.0 版の FreeHand 8.0J から、プリントオプションで[プリント後保存]を選択しても、ドキュメントがスプールに保存されないことがあります。

- Windows NT 4.0 版の FreeHand 8.0J では、[プリンタの機能]の設定が保持されない場合があります。なお、FreeHand 9.0J では、設定が保持されます。

- Windows NT 4.0 では、プリンタドライバのパス名が長い場合、インストーラーを起動することができない場合があります。この場合は、パス名を短くしてインストーラーを起動してください。

- Windows NT 4.0 では、LPR ポートを使用して作成したプリンターのプロパティ画面で、「プリンタに直接データを送る」を指定した場合、「XXX への書きこみエラー：予期しないネットワークエラー・・・」エラーになり、プリントできません。

- Windows NT 4.0 版の InDesign 2.0 では一度設定しプリントした用紙サイズが保存されません。このため、再度プリントする場合は、用紙サイズの設定を確認してください。これは InDesign 2.0 の制限事項です。

- Windows 2000 のプリンタードライバープラグインを使用して、[TIFF ファイルで保存]を選択し TIFF ファイルを作成すると、解像度が指定した値でなく、600dpi になる場合があります。

- Windows 2000 のプリンタードライバープラグインを使用して Internet Explorer 5.0 からプリントする場合、プリントオプションの設定が正しく反映されないことがあります。ワードパッドやメモ帳でも、同じ問題が発生することがあります。この場合は、レイアウトタブを表示してからプリントしてください。

- Windows 2000 から Standard TCP/IP Port を使用すると、プリントに時間がかかることがあります。その場合には、UNIX 用印刷サービスをインストールし、LPR Port を使用してプリントしてください。

- Windows 2000 版の PageMaker 6.5 から、プリントオプションのスプールオプションで[プリントせずに保存 した場合、ServerManager のジョブリストにジョブ名がフルパスで表示されます。

- Windows 2000/XP で IPP プリンタを作成する場合、パスワード入力が必要な場合があります。この場合、パスワード入力ダイアログボックスの[キャンセル]をクリックして下さい。[キャンセル]をクリックしても、プリンタは作成されます。

- Windows の InternetExplorer 6 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。これは InternetExplorer 6 の制限事項です。

- Windows の QarukXPress 4.1 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。これは QarukXPress 4.1 の制限事項です。

2-6　Drop Print2

◆ MacOS X で Drop Print2 のアップレットを作成する場合は、Classic 環境で作成したものを、Native のスクリプトエディターにドロップして別名で保存してください。

◆ MacOS X から Drop Print2 を使ってプリントした場合、[所有者]には、Classic モードのファイル共有コントロールパネルで設定したユーザー名が表示されます。

◆ Windows XP に DropPrint2 をインストールする場合は、Administrator 権限を持つユーザーで実行して下さい。Administrator 権限を持たないユーザーでインストールした場合、正しくインストールされません。

2-7　スキャナー

◆ e.Typist では、200、300、および 400DPI の解像度しかスキャンできません。これは、e.Typist の制限事項です。

◆ DocuWorks 3.1 では、スキャンした画像が 50MB 以上の場合はエラーで終了します。これは、DocuWorks 3.1 の制限事項です。

◆ 読ん de!!ココでは、解像度に 50～800DPI を指定してください。それ以外を指定した場合、アラート画面が表示され正しくスキャンできません。これは、読ん de!!ココの制限事項です。

◆ 読ん de!!ココを使用して原稿送り装置からスキャンすると、最初の１ページめしか保存されません。これは、読ん de!!ココの制限事項です。

◆ スキャナーアプリケーションを起動中に、Windows の画面プロパティで[フォントサイズ]を[大きいフォント]に変更すると、スキャナーアプリケーションのメニューが正しく表示されないことがあります。この場合は、アプリケーションを再起動してください。

◆ サーバー本体でスキャンする場合、「原稿ガラス」と「原稿送り装置」を切り替えると、スキャンの「範囲」は切り替えた方で設定していた値に変わってしまいます。

3　RGB 画像警告機能について

3-1　RGB 画像について

RGB 画像警告機能は、プリンターに送られてくる PostScript コードに含まれる、RGB カラースペースのコードを検出し、その画像をマゼンタで塗りつぶし警告するものです。
アプリケーションやそのバージョンによっては、RGB 画像は次の 2 つの出力結果となります。
①　RGB データを RGB カラースペースのまま出力するもの
②　RGB データを CMYK に変換してから出力するもの
①の場合は、オフセット印刷(分版出力)する際に、RGB 画像を K 版のみの白黒画像になるような出力を行います。
②の場合は、分版出力でも、CMYK に分版してカラー画像になるように出力します。
アプリケーションによる RGB 画像の扱いの差違については、「3-2 アプリケーションによる RGB 画像の扱いの違いについて」を参照してください。
RGB 画像警告機能は、アプリケーションに貼り付けた RGB 画像を検出するというものではなく、①の「RGB データを RGB カラースペースのまま出力するもの」の印刷では白黒画像になってしまうというトラブルを、事前に防止/検出するための機能です。

3-2　CIE 画像について

RGB 画像警告機能には、CIE 画像を検出する機能もあります。プリンターに送られてくる PostScript コードに含まれる、CIE カラースペースのコードを検出し、その画像をシアンで塗りつぶし警告するものです。
Photoshop(Version 5.0 以降)でポストスクリプトカラー管理をオンにして作成した CMYK 画像(CIE 画像にはカラープロファイルが埋め込まれています)は、コンポジット出力では埋め込まれたカラープロファイルが適用されますが、分版出力ではカラープロファイルが適用されず、色再現に差違が生じてしまう場合があります。
RGB 画像警告機能は、このようなオフセット印刷(分版出力)を行うとコンポジット出力とは異なる結果になってしまうような画像のトラブルを、事前に防止/検出するための機能です。

3-3　アプリケーションによる RGB 画像の扱いの違いについて

アプリケーションやそのバージョンによっては RGB 画像を CMYK データに色分解する機構を内蔵し、分版出力でもカラー画像を出力することができます。
アプリケーションの、RGB→CMYK 変換を正しく行うには、アプリケーションのカラー環境を正しく設定する必要があります。
代表的なアプリケーションと、そのバージョンによる RGB 画像の取り扱いの違いを次に示します。
ただし、これはアプリケーションの動作を保証するものではありません。仕様や動作の詳細に関しては各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

◆ Illustrator

	バージョン	5.5	7		8		9、10	
	RGB 画像	リンク	リンク	埋め込み	リンク	埋め込み	リンク	埋め込み
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB	CMYK	RGB	CMYK	RGB	CMYK
	TIFF*1	-	-	-	CMYK	CMYK	CMYK	CMYK
EPS 出力	EPS	RGB	RGB	RGB	RGB	RGB	RGB	CMYK
	TIFF*1	-	-	-	RGB	RGB	CMYK	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD

Illustrator の場合、RGB 画像ファイルの扱いは、「バージョン」、「プリント出力と EPS ファイル作成」、「リンクか埋め込みか」のそれぞれの違いで変化します。

◆ QuarkXPress

	RGB 画像	バージョン	
		3.3	4.0、4.1
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF*1	RGB	CMYK
EPS 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF*1	RGB	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT

QuarkXPress は、バージョン 4.0 から、RGB 画像を CMYK に変換できる機能があります。ただし、TIFF/JPEG/BITMAP/PICT 画像フォーマットだけ CMYK に変換でき、EPS ファイルは RGB のまま処理します。

◆ InDesign

	RGB 画像	バージョン
		1、2
PostScript 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK/CIE*
EPS 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD

InDesign は、RGB を CMYK に変換できる機能がありますが、TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD 画像フォーマットだけ CMYK に変換でき、EPS ファイルは RGB のまま処理します。
* CMYK/CIE と書いてある部分は、アプリケーションのカラー設定により、動作が変わります。

◆ FreeHand

	RGB 画像	バージョン
		8
PostScript 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	RGB/CMYK
EPS 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	RGB/CMYK
PostScript 分版出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT

ファイルメニューの出力オプションに、「RGB をプロセスカラーに変換」という項目があり、コンポジット出力および EPS ファイル作成時の TIFF 画像の扱いを切り替えることができます。ですが、分版出力する場合は必ず CMYK 画像に変換して扱います。

◆ PageMaker 6.5/7.0

	RGB 画像	バージョン	
		6.5	7.0
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF など	RGB/CMYK*1	RGB/CMYK*2
EPS 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF など	RGB/CMYK*1	RGB/CMYK*2

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT

*2： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD

PageMaker では、環境設定にある CMS 設定のカラーマネージメントを OFF/ON することで、RGB 画像を RGB 画像のまま扱うか、RGB 画像を CMYK に変換してから扱うかを選択することができます。EPS ファイルは、RGB のまま扱います。